

平成27年度 県立学校における「地域と共にある学校づくり」の取組概要

<平成27年度の取組>

取組名	活動時間	連携先	取組への生徒の関わり方	取組の概要	実施の時期
1 生物多様性ならプロジェクト -田んぼの水族館-	⑥ クラブ活動・部活動 ① 各教科の授業	d. 社会教育施設 c. 大学・専門学校	① 生徒が主体的に計画し、教職員等と一緒に決定した	奈良県農林部農村振興課の「田んぼの水族館」と橿原市昆虫館の「田んぼの生きもの調べ」に指導アシストとして参加。またその学習を兼ね、定期的に地元の用水路の生きもの調べと清掃活動を実施。奈良女子大学遊佐先生、奈良大学岩崎先生とも一緒に調査を行った。調査結果は、イベントで発表している。さらに三田んぼの水族館を校舎入り口に設置、来客に楽しんでもらっている。	通年
2 生物多様性ならプロジェクト -貴重野生植物の域外保全-	⑥ クラブ活動・部活動 ① 各教科の授業	c. 大学・専門学校 d. 社会教育施設	④ 教職員等が計画をする際、生徒に意見を求めた	奈良県くらし創造部景観環境局景観自然環境課より依頼を受け、田村薬品製菓草園と共に奈良県絶滅寸前種ヒメユリの栽培と繁殖を行っている。また国土交通省奈良国道事務所より依頼を受け、奈良県絶滅危惧種オグルマの栽培と繁殖を行っている。また地元でヒガンバナ結実団体群を発見し、稀性のある種子を得、発芽に成功している。奈良植物研究会の先生より助言を得ている。	通年
3 生物多様性ならプロジェクト -虫いっぱい山山づくり-	⑥ クラブ活動・部活動 ① 各教科の授業	f. NPO団体 d. 社会教育施設	① 生徒が主体的に計画し、教職員等と一緒に決定した	橿原市昆虫館ボランティア虫いっぱい山山づくり隊による山山整備事業に参加。専門性を活かし、森の食草・食肉の苗を学校で育苗し、山山内に定植している。また、山山資源の有効活用の一環として橿原市昆虫館で「かこ編み体験」を開いている。	通年
4 生物多様性ならプロジェクト -生物多様性の普及活動-	⑥ クラブ活動・部活動	d. 社会教育施設 f. NPO団体	④ 教職員等が計画をする際、生徒に意見を求めた	橿原市昆虫館や奈良県くらし創造部景観環境局景観自然環境課、奈良県農林部農村振興課の実施する生物多様性の普及に関するイベントに参加している。また、環境省や国連生物多様性10年日本委員会、国際自然保護連合日本委員会の各事業とも連携を深めている。特に国際自然保護連合の「おりがみアクション」はパートナーズ団体となり、年に数回実施している。	通年
5 生物多様性ならプロジェクト -外来種の駆除-	⑥ クラブ活動・部活動	c. 大学・専門学校 d. 社会教育施設	① 生徒が主体的に計画し、教職員等と一緒に決定した	イネの食害害虫であるジャンボタニシの効率的な駆除方法を開発している。奈良県農林部病害防除所や奈良女子大学遊佐先生から指導助言を得ている。実験は、橿原市昆虫館の田んぼで行っている。	通年
6 生物多様性ならプロジェクト -郷土種の系統保存-	① 各教科の授業 ⑥ クラブ活動・部活動	c. 大学・専門学校	④ 教職員等が計画をする際、生徒に意見を求めた	奈良教育大学自然環境教育センターと一緒に紀伊山地系統のシコクビエの系統保存を行っている。元々の産地である天川村にて栽培普及活動を行っている。天川村からの協力も得、イベント等でシコクビエの普及活動を行っている。また、シコクビエを使った新メニューも開発している。まもなく改良を重ねてきたシコクビエから使ったお茶「しこくびえ茶」を天川村にて発表予定。	通年
7 生物多様性ならプロジェクト -身近な生きもの調べ-	① 各教科の授業 ⑥ クラブ活動・部活動	d. 社会教育施設 c. 大学・専門学校	④ 教職員等が計画をする際、生徒に意見を求めた	奈良県版レッドデータブック策定の際、調査が手薄だったという学校周辺の生きもの調べを行っている。奈良県版レッドデータブックに載っている生きものがたくさん見つかった。また環境省準絶滅危惧種ナガオカモリアガイの繁殖地も見つかり、たいへん貴重な発見ということで、奈良大学岩崎先生のご指導の下、「南紀生物」で発表した。その他の調査結果については、橿原市昆虫館で発表した。	通年
8 通学路清掃奉仕活動	③ 特別活動(学級活動) ④ 特別活動(生徒会活動) ⑥ クラブ活動・部活動		② 生徒が主体的に計画・決定した	クラブで毎朝通学路をボランティアで清掃奉仕している。また、定期的に、美化委員会が中心になってクラス単位で行っている。	通年
9 交通安全啓発運動	④ 特別活動(生徒会活動)	g. 地元自治会 h. 婦人会 i. 青少年健全育成団体	① 生徒が主体的に計画し、教職員等と一緒に決定した	春と秋の交通安全週間に、生徒たちが育てた季節の花や、手作りのマスコットなどを、道行くドライバーに手渡して、交通安全を呼びかける。	4月・9月
10 園芸交流会	① 各教科の授業 ④ 特別活動(生徒会活動)	a. 保育園・幼稚園	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	① プランターに高校生が栽培した、季節ごとの花を園児たちと定植し交流を図る。(春・秋) ② 高校生が栽培した夏野菜(スイカ・トウモロコシ)と秋野菜の収穫体験(サツマイモ・落花生)を園児たちと一緒にして交流を図る。夏はスイカ割り大会を園児たちとする。	5月・7月 9月・11月
11 ラグビーフェスティバル	⑥ クラブ活動・部活動	g. 地元自治会 l. 病院 d. 社会教育施設	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	ラグビーで町を活性化させるために東の風会がボランティアで御所の特産物やキュウリ、スイカなどを提供して頂いた。地域との交流や御所の人たちにラグビーを広めた。	7月
12 鴨波神社御輿担ぎ	⑥ クラブ活動・部活動	g. 地元自治会 i. 青少年健全育成団体	⑤ 教職員等が計画を決定した	鴨波神社の御輿担ぎでは、地域の人との交流や担ぎ手が高齢になっているので若い担ぎ手がほしいとの要望で運動部員が参加した。(ラグビー部・野球部)	9月
13 リレーフォーライフ ジャパン 奈良県イベント参加	⑥ クラブ活動・部活動	f. NPO団体	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	癌撲滅キャンペーン団体で奈良県大和郡山田などが後援している。そこに本校の工作部が作った模型新幹線の乗車イベントを実施した。	10月3日
14 軟務第4子ども園 訪問	⑥ クラブ活動・部活動	a. 保育園・幼稚園	④ 教職員等が計画をする際、生徒に意見を求めた	子ども園へ訪問し、模型新幹線の乗車体験イベントを通じて子どもたちとの交流イベントを行った。	10月19日
15 奥大和ゆうゆう祭	⑥ クラブ活動・部活動	g. 地元自治会	⑤ 教職員等が計画を決定した	地域活性化のイベント	10月24～25日
16 技能フェスティバル	⑥ クラブ活動・部活動	g. 地元自治会	⑤ 教職員等が計画を決定した	各職業団体のPR活動とともに技能への理解を啓蒙するイベントに参加し、地域の子どもたち保護者に本校のPRを行った。	10月31日～11月1日
17 ライトアップ週間	① 各教科の授業 ④ 特別活動(生徒会活動) ⑥ クラブ活動・部活動	b. 小学校・中学校 g. 地元自治会	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	県の教育週間の時に、地域の遊覧所でもある本校を開放し、正面玄関のシンボルツリーのケヤキとクスノキをライトアップして、地域の方々にお願いした。茶道部のお点前を楽しんでいただいた。今年は前年に引き続き、環境緑地科の竹灯籠、生徒会役員によるLED装飾、電気工学科によるプロジェクトマップ、地元小学生手書きのLED灯籠、無線部のバリエーション動画など各、クラブの協力の下、素晴らしいイベントとなった。	10月
18 灯籠に飾る絵を描こう	② 総合的な学習の時間	b. 小学校・中学校	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	御所実ライトアップ週間に合わせて、課題研究においてLEDランプを使って灯籠を製作した。その灯籠を飾る絵を小学校5、6年生に描いてもらい飾り付けをした。ライトアップ当日は、多くの小学生やその保護者が灯籠を見に来てくれた。	10月下旬
19 出前授業 ～おもしろ化学実験～	② 総合的な学習の時間	b. 小学校・中学校	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	小学生を対象にして、化学に興味をもってもらえるような実験を生徒が考え、出向いて化学実験を展開する。説明用のパワーポイントや子どもたちへの講話、指導法なども検討しながら進める。3年生の4名が同じ小学校で2回行った。	10月～11月
20 恵愛保育所	⑥ クラブ活動・部活動	a. 保育園・幼稚園	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	保育園へ訪問し、模型新幹線の乗車体験イベントを通じて子どもたちとの交流イベントを行った	11月7日
21 御所実業高校フェア	⑤ 特別活動(学校行事)		⑤ 教職員等が計画を決定した	イオンモール橿原において、模型新幹線の乗車体験イベントや各科の体験ブース、パネル展示を通じて子どもたちとの交流イベントを行った	12月5～6日
22 世代間交流会	④ 特別活動(生徒会活動)	a. 保育園・幼稚園 m. PTA	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	地元幼稚園に、園児の祖父母を招いて協力し、餅つき大会をして交流を図る。	12月
23 プログラムって何? SCRATCH(スクラッチ)を使って簡単なゲームを作ってみよう	① 各教科の授業	b. 小学校・中学校	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	SCRATCHという小学生でも簡単に扱えるプログラミングツールを使って簡単なゲームを作ってもらった。進行は教員が行い、児童の補助として電気工学科の2年生が6名ずつ(2校で実施)参加した。	1月中旬～下旬
24 ラグビーマールシェ	⑥ クラブ活動・部活動	i. 青少年健全育成団体 g. 地元自治会 d. 社会教育施設	⑤ 教職員等が計画を決定した	県・市が協力して御所の新地商店街を盛りあげよう。ラグビーワールドカップの誘致をしようとし、御所実業出身のトップリーグのトウジョウ、ラグビー部による練習の時のダンス・ハカなどを披露した。	2月
25 幻の五新鉄道活用プロジェクト	⑥ クラブ活動・部活動	f. NPO団体	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	地域活性化のイベント	2月28日
26 Go-Sayラグビーマールシェ	⑥ クラブ活動・部活動	f. NPO団体	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	地域活性化のイベント	3月13日(予定)